

各報道機関文教担当記者 殿

文部科学省との共同企画展示 金沢大の研究成果発信 4/1 から

金沢大学は、文部科学省との共同企画展示として、文部科学省ミュージアム「情報ひろば」において、「身近な食品由来のカロテノイドによる脂肪肝炎の進展阻止」をテーマに研究成果の展示を行います。

このたびの企画展示では、食生活の欧米化により急激に増加しているといわれる「非アルコール性脂肪肝炎（NASH）」の予防・改善に、日本人にとって身近な食品の成分であるアスタキサンチン（サケ、エビ、カニなどの赤色魚介類）やβ-クリプトキサンチン（ウンシュウミカン）が有効であるという研究成果を紹介し、メタボリックシンドロームが原因の脂肪肝について理解を促します。また、医学、農業、企業が連携した研究が、日本の農業などの活性化につながる可能性を発信します。

この研究は、金沢大学が研究分野の強みを活（い）かして人間社会、理工、医薬保健の各研究域に設置した研究域附属研究センターの一つ、「医薬保健研究域附属脳・肝インターフェースメディスン研究センター」で行われています。このセンターでは、「脳」と「肝」の優れた独立研究に加えて、臓器間の密接な関係を研究し、過栄養や高齢化に伴う疾病の制御という21世紀の課題の克服を目指しています。

文部科学省ミュージアム「情報ひろば」企画展示

期 間：平成26年4月1日（火）～7月末日（予定）

場 所：文部科学省「情報ひろば」企画展示室

（東京都千代田区霞が関3-2-2 旧文部省庁舎3階）

金沢大学展示テーマ：

「身近な食品由来のカロテノイドによる脂肪肝炎の進展阻止」

※展示内容は、別紙を御覧ください

（参考）

文部科学省「情報ひろば」ホームページ

<http://www.mext.go.jp/joho-hiroba/>

入場無料

本件照会先・担当：金沢大学総務部広報室 福田・梶井

Tel 076-264-5024 Fax 076-234-4015

E-mail koho@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学展示テーマ

「身近な食品由来のカロテノイドによる脂肪肝炎の進展阻止」展示内容



展示の全景

【主な展示物】

実物展示

■β-クリプトキサンチンジュース

・農林水産省「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発委託事業」の研究成果から生まれた、β-クリプトキサンチンを多く含んだジュースです。

■アスタキサンチン配合サプリメント

・アスタキサンチンを配合した栄養補助食品です。現在金沢大学病院において、アスタキサンチンのNASHにおける治療効果について臨床試験を実施しています。

■食卓と食品サンプル

・「だん」の食卓で生活習慣病予防を實踐できるイメージを表現しています。
「肝臓はどれ？」のお楽しみコーナーが隠れています。

パネル

■研究紹介パネルボード

- ・金沢大学医薬保健研究域附属脳・肝インターフェースメディスン研究センター
太田 嗣人 准教授の研究概要
- ・健康に役立つ！β-クリプトキサンチンについて
協力：農研機構果樹研究所、(株)えひめ飲料（共同研究）
- ・生命を守る赤いパワー！アスタキサンチンについて
協力：富士化学工業グループ アスタリール(株)（共同研究）

■研究紹介クイズパネル

- ・主に小学生向けに、肝臓と研究成果について分かりやすく紹介しています。

映像

■「非アルコール性脂肪肝炎（NASH）とは？」

- ・富士化学工業(株)西川浩司氏と金沢大学太田嗣人准教授の対談で紹介します。